

フィールドワーカーとしての振る舞い (教育現場との付き合い方) について考える

教育方法学会に所属する研究者の多くは、教育現場（学校をはじめ、教育委員会や民間の団体等も含めて）にフィールドワーカーとして何かの形でかかわらざるを得ない。研究者が教育現場とかかわることにはどのような意味があるだろうか。また、教育現場とかかわるフィールドワーカーとしてどのようなことに留意することが必要であろうか。

自身の研究にとって都合よくということでも、教育現場からの一方的な要請要望に単に応えるということでもなく、研究者が教育現場とうまく付き合いかわっていくことは、自身の研究にとってもまた現場の実践にとっても大きなメリットをもたらすはずである。

今回の若手支援企画では、ベテランの研究者からご自身の経験（失敗談も含めて）を踏まえて、どのような意図でどのように教育現場とかかわってこられたのかご報告いただき、フィールドワーカーとしての振る舞い、教育現場との付き合い方について考えてみたい。

日時 2021年6月12日(土) 10:00~12:00

場所 オンライン開催

司会者 川地亜弥子(神戸大学)

藤江康彦(東京大学)

提案者 阿部 昇(秋田大学)

教育学研究者は教育現場とどう切り結ぶのか

－研究者と現場教員との共同性について－

的場正美(東海学園大学)

日本とドイツの授業実践との出会いと継続を支えた解釈共同体

申込方法

参加には申し込みが必要です。学会ウェブサイトの申し込み窓口

(<https://www.nasem.jp/>) にて必要情報をご記入ください。(締切6月10日)

開催前日に、メールで Zoom のリンクをお知らせします。

最新情報は、学会ウェブサイトにもアップしますので、ご確認ください。

会員からの質問等の事前投稿について

教育現場との関わり、付き合い方に関して、質問や聞いてみたいことがある会員は、6月5日までに、申込フォームに投稿してください。いただいた内容を検討してできる限り当日の会で対応したいと思います。(なお、質問等多数の場合は全て取り上げることはできません。この点につきましてはご了承くださいませようお願いいたします。)

※本企画は会員のみ参加できません。なお、本企画への参加は無料です。

お問い合わせ先:日本教育方法学会事務局

〒739-8524 広島県東広島市鏡山 1-1-1

広島大学大学院人間社会科学研究所(教)

教育方法学研究室気付

hohojimu@riise.hiroshima-u.ac.jp